全国に出されていた緊急事態宣言も解除され、学校をはじめとするスカウトたちの日常生活も、徐々に戻りつつあります。このコロナ禍によって日常生活は一変しました。本運動も活動が中止せざるを得ない状況に追い込まれましたが、ようやく再開できる状況になってきました。

緊急事態宣言解除に伴う　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2020年6月

スカウト活動の再開について

指導者の皆様へ

新型コロナウィルス感染対策下のスカウト活動は一体どのようにしたらいいのでしょうか？　スカウティングの根幹である班制教育・野外活動に様々な制限が加わることは避けられません。これを機にこの運動を離れるスカウトも出るでしょう。

しかし、この様な時代であるからこそ、「スカウト教育の目的」（自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し且つ、誠実、勇気、自信及び国際愛と人道主義を把握し、実践できるように教育する事をもって教育の目的とする。）を踏まえて教育する事が大切となってきます。このコロナ禍に際し、今我々スカウトは一体何が出来たであろうか？　今後何が一体出来るであろうか？　スカウト教育の目的をスカウト・指導者に再度思い起こせさせ、自発活動による本運動の未来を考えるべきです。

今後、地域の感染状況を判断しながら、スカウト活動を徐々に再開していくことになります。再開にあたっては、スカウト及び指導者の感染リスクを可能な限り低減することが必要です。そのため、ボーイスカウト茨城県連盟では、活動現場の衛生管理の観点から、「スカウト活動再開のためのガイドライン（Ibaraki Model）」を作成しました。

　新型コロナウィルス感染症に関しましては、ワクチンや特効薬が開発され、季節性のインフルエンザと同じ対応になるまでの間は、政府の「新しい生活様式」を踏まえた日常生活とスカウト活動が必要となります。指導者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**１．活動の基本方針**

・各団・隊・地区・県連盟の活動は「茨城版コロナNext」の「Stage1」に移行した段階から、「スカウト活動再開のためのガイドライン（Ibaraki Model）」が示す各種条件が整い次第順次再開とします。

**２．基本的な感染対策**

|  |
| --- |
| 【感染予防として必要な活動時の持ち物】清潔なハンカチ，ティッシュ，マスク，マスクを置く際の清潔なビニール袋や布等 |

**(1) 感染源を絶つこと**

①発熱等の風邪の症状がある場合等には参加しないこと

②集合時の健康状態の把握

③集合時に発熱等の風邪の症状が見られた場合は自宅休養

**(2) 感染経路を絶つこと**

①手洗いの励行

②換気の徹底

③マスクの着用

④消毒の徹底

**(3) 抵抗力を高めること**

**３．活動の指針**

【スカウト活動の開始時・終了時】

・手洗いを徹底すること。

【整列、報告】

・整列するときは、スカウト相互の身体的距離を 1m 　　以上とること。

・集合完了時の報告は、その場で行うこと。

【ゲーム】

・スカウトが密集したり、近距離で組み合ったり接触したりするゲームは避ける。

・スカウト相互の身体的距離は 1m 以上とること。

【ソング（室内）】

・近距離でのソングの合唱はさけること。

・可能な限り、円形になっては歌わない。

・それでも、できるだけソングを活動に取り入れる。

【カブのキャンプ】

・テントを使ったキャンプは当面の間は行わない。舎営については、9月1日以降に条件付きで実施可とする。

【BS 以上のキャンプ】

・「新しい生活様式」に沿った、新たな発想でのスカウト・キャンプであれば、9月1日以降に条件付きで実施可とする。

【ハイキング】

・密集、密接にならないように工夫してプログラムを行うこと。

・歩行中は身体的距離（2m 以上）を空けること。

【野外料理・食事】

　・調理器具については、確実に除菌・消毒すること。

・できる限り身体的距離（最低 1m）をとること。

・向かい合わせの着座は避け、できるだけ会話は控えること。

【進歩】

・日本連盟の「新型コロナウイルス対応における進歩に関する特別措置」（2020年5月24日施行）による。

**４．具体的な活動毎の対策について**

**(1) 集会（隊集会・組集会・班集会など）**

　　　・マスクの着用（屋外等活動により外すこともあり）

　　　・換気の徹底

　　　・間隔の確保（１ｍ以上）

　　　・用具等の消毒

などの対策をとり、３つの密（密閉、密集、密接）を避けて実施します。

**(2) 会議（班会議・班長会議・隊会議など）**

・マスクの着用

・換気の徹底

・大きな部屋で実施

・出席者の間隔をとる

などの対策をとり、３つの密（密閉、密集、密接）を避けて実施します。

**(3) 野外活動**

　　　キャンプやハイキングなどの野外活動については、可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動（キャンプやハイキングの準備活動等）から徐々に実施します。**（宿泊を伴うプログラムは８月末までは自粛）**

**(4) 食事を伴うプログラム**

・体調管理の徹底

・衛生的な服装の徹底

・手指の洗浄の徹底

・調理器具の除菌・消毒

・スカウト・指導者全員の食事の前後の手洗い

・会食時の、飛沫の防止

などの対策をとり実施します。

**５．その他**

　**(1) 医療的ケアを必要とするスカウト等について**

医療的ケアを必要とするスカウト、特別支援学校等に通学していて配慮が必要なスカウトについては、主治医等の意見を確認の上、個別に活動参加の判断をしてください。

**(2) スカウトや家族の感染が判明した場合**

スカウトや同居する家族の感染が判明した場合、活動中に他のスカウトに感染が拡大した可能性もあるので、保護者に団への連絡を依頼しておきます。

**(3) セーフ・フロム・ハーム教育の推進**

　　　感染による差別や中傷を防ぎ、感染したスカウトやその家族が孤立しないよう、思いやりの心を育てるセーフ・フロム・ハーム教育を推進してください。

**(4) 指導者訓練**

　　・日本連盟の定型訓練は８月末まで自粛。今後日本連盟より方針が示される予定。

　　・県定型・定型外訓練は８月末までに予定していたものについては、中止または延期。９月以降の開催の可否については、感染状況等を踏まえて理事会で判断します。

**(5) スカウトに関する行事**

　　・日本アグーナリー・茨城県キャンポリーは2021年度に延期となりました。

　　・I-Bグランプリ・ベンチャーラリー・ＧＢの集いなど９月以降に予定されている県連盟事業については、感染状況等を踏まえて開催の可否を理事会で判断します。